



東成瀬村

議会だより

No.163

平成23年7月20日発行



大きく育て!

東成瀬小学校4年生 岩魚の稚魚を放流



入道地区で「なるせ産ギャル米」発見！

6月 定例会

6月定例会は、6月21日から23日まで3日間の会期で開かれました。村長から提出された9件の議案をはじめ、農業委員の推薦や議員発議による意見書案などが6件、これら、すべての議案は全会一致で原案可決されました。

国保税 税率は据え置きし、課税限度額を引き上げ

平成23年度国保税の課税は、税率及び世帯平等割額・均等割額ともに22年度と同じにする「据え置き」とした。ただし、地方税法施行令の一部を改正する政令の施行に伴い、課税限度額を引き上げる必要があり、国保条例の一部を次のように改正した。

- 基礎課税額の限度額 50万円から51万円に
- 後期高齢者支援金等課税額の限度額 13万円から14万円に
- 介護納付金課税額の限度額 10万円から12万円に

幸寿苑に「居宅サービス事業所」を開設

社会福祉協議会が開設していた訪問介護、訪問入浴介護及び居宅介護支援の事業所が廃止されることに伴い、これらの介護事業を特別養護老人ホーム幸寿苑で実施するため設置条例の一部を改正した。業務は村社会福祉協議会へ委託し、平成23年7月1日から開始。

機敏に対応

災害対策特別委員会

災害対策特別委員会を設置

東日本大震災を教訓に自然災害や防災対策等に関し、機敏な調査活動を可能とする「災害対策特別委員会」を設置することに決定した。委員は全議員とし、委員長に富田議長、副委員長に佐々木副議長を選出した。

【要綱】（一部抜粋）

- 一 名称 災害対策特別委員会
- 二 根拠 地方自治法第110条及び東成瀬村議会委員会条例第4条による。
- 三 目的 自然災害及び防災対策等に関する総合的調査
- 四 定数 10人
- 五 期限 議会の閉会中も調査を行うことができるものとし、調査終了まで継続して調査を行う。



東日本大震災(救援物資運搬時撮影)

農業委員の推薦を決定

任期満了となる村農業委員において、農業委員会等に関する法律の規定に基づく議会の推薦委員は、次の2名に決定した。



後藤 恵子 氏
59歳
田子内字若宮下14番地4
【新任】



谷藤 怜子 氏
59歳
岩井川字合居115番地
【再任】

案 件

東成瀬村国民健康保険税条例の一部改正 (2ページに関連記事掲載)
東成瀬村特別養護老人ホーム設置条例の一部改正 (2ページに関連記事掲載)
平成23年度東成瀬村一般会計補正予算(第4号) (4ページに関連記事掲載)
平成23年度東成瀬村国民健康保険特別会計(直営診療施設勘定)補正予算(第2号)
平成23年度東成瀬村介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)補正予算(第1号)
東成瀬村税条例の一部改正
平成23年度東成瀬村一般会計補正予算(第3号)
平成22年度東成瀬村事故繰越し繰越計算書
平成22年度東成瀬村繰越明許費繰越計算書

専決処分等

予算

一般会計は7千705万円の追加補正、
総額31億9,705万円に

介護保険特会(介護サービス事業勘定)は
1,812万円の追加補正

可決

23年度一般会計補正予算の主なもの	
歳入	
○負担金	
広域入所分保育料負担金	374万円
○県補助金	
児童虐待防止対策緊急強化事業補助金	109万円
小規模介護施設等緊急整備費補助金	3,000万円
介護施設開設準備経費補助金	540万円
○繰入金	
財政調整基金繰入金	2,400万円
○諸収入	
市町村振興助成金	1,150万円
歳出	
○議会費	
事務補助員賃金	129万円
○総務費	
公用車購入費	450万円
さわやかなるせ夢プラン支援事業助成金	100万円
地区集会所建設事業費補助金	172万円
地域づくり活動推進事業補助金	225万円
物産振興資金貸付金	150万円
○民生費	
小規模介護施設等緊急整備費補助金	3,000万円
小規模介護施設開設準備経費補助金	540万円
広域入所委託料	194万円
児童虐待防止対策関連経費	110万円
○農林水産業費	
農業振興費(修繕料)	181万円
○商工費	
観光施設修繕料	300万円
○土木費	
道路維持費(本工事費)	200万円
○消防費	
発電機等購入費	400万円
震災対策経費	100万円
○教育費	
ふる里館特別展開催事業委託料	50万円
スポーツ少年団育成補助金	22万円
○災害復旧費	
公立学校施設災害	220万円
保健体育施設災害	440万円

田子内地区(森林組合倉庫西側)に予定されている認知症グループホームの開設に対して、3千540万円を補助金として支出する。財源は全額県補助金となっており、村の負担はない。

事業は村の介護保険計画に基づき事業所開設の公募を行い承認された。開設者は特定非営利法人NPO社会福祉事業振興会(湯沢市)となっており郡内で同様の施設を2箇所、運営している。

小規模介護施設整備に
3千540万円を補助



認知症グループホーム建設予定地

東日本大震災で停電が数日間に及んだことから村内16地区の集会所に発電機を配備する予算が計上された。

機種は使い勝手を重視し、現在、分団5地区に配備されているものと同メーカーとし、避難者が多くなると見込まれる「ゆるるん」と「まるごと自然館」には大型の機種、防災情報センターには、複数の電源に対応できる三相発電機を配備する予定となっている。

村内16地区に発電機を配備
400万円を計上



今定例会からクール・ビズ（軽装）を導入

第12回 議員全員協議会

6月22日、役場で開催され、補正予算に計上された小規模介護施設整備費補助金の対象となる法人の活動状況や建設予定地などを副村長と担当課長・職員から説明を受けた。

また、村長の行政報告に基づき、村内で畜産と農林業の振興計画を秋田県や法人から打診されている計画内容などについても説明を受けた。

請願・陳情

6月定例会には3件の陳情が提出され、それぞれの常任委員会に付託し、審査の結果、全件を採択すべきものとして意見書を提出することに決定した。

○第11回湯沢雄勝農業者大会における「農業経営の確立と食の安全に関する決議」の実現を国に要望する陳情

(陳情者) 第11回湯沢雄勝農業者



定例会2日目に開催

大会 大会会長 大野耕作

○第11回湯沢雄勝農業者大会における「東日本大震災と原発事故による被災者救済に関する特別決議」の実現を国に要望する陳情
(陳情者) 第11回湯沢雄勝農業者大会 大会会長 大野耕作

○「地方消費者行政充実のための国による支援に関する意見書」の採択等を求める陳情

(陳情者) 秋田弁護士会
会長 三浦 清

ちよつと一息



◆本気なら

クール・ビズが提唱されて久しい。しかし、ネクタイははずしたのに、冷房はフル回転。某国の宰相のように、パフオーマンスだけ。それで、わが議会は「パフオーマンスはやらぬ。従前スタイルを貫く」の姿勢でできた。ところが大震災を経て大量消費・投棄社会に変化の気配が。「社会全体が本気の28度設定で夏を乗り切る覚悟なら」と、初めて本会議をクール・ビズとした。本気でやるなら何事も覚悟がある。(議長)

◆珍客傍聴?

定例会初日が無事終了、議員の皆さんが退庁した昼下がり、ちよつと一息とペランダに出たところ、裏山の斜面に何やら動く物体が・・・カモシカ? すぐさまシャッターを切った。

眼前に特別天然記念物、何と牧歌的なことか。(事務局長)



佐々木 健 夫 議員

余りにも多い人事異動の意図は

村長 班編制し斬新な心構えで取り組む



大異動の意図は

問 四月の人事異動は、全課長が異動の上、余りにも多い異動で職員が戸惑い事務にも支障がでたと思う。大異動の意図は何か。

村長 今回の人事異動は、前例踏襲にとらわれず班体制をとり、職務分担を明確にし、長期に同一業務を担当している職員の異動を主体に行つたため大幅異動になった。

一階に総務企画・農林建設課の一課を配置出来なかつたか。

問 昨年の不祥事を考えたら、村長、副村長の目配りが大事であるし、職員の横の連携が取りやすいようこれまでどおりこの二課を二階に配置すべきではなかつたか。

村長 二階の従来の配置では、来客の相談など狭い所でやっ

ており煩雑すること。来客者がパソコンや重要書類を覗き見できるなど、個人情報などが漏えいする危険性もあること。また気軽に打ち合わせや休憩ができる場所を配置した。

副村長の前にスペースを取り常時課や班長等が集まり密度の濃い打ち合わせをしており、目配りは十分できているし、私も各課に顔を出すようにしているので問題は無い。

人事異動等を事前に議会にお知らせできなかったか。

問 今回は議会事務局長も異動したが、これだけ大きな異動や改装であり、大雑把なこととは事前に議会強いて議長だけにでもお知らせできなかったか。

村長 人事異動は職員のプライバシーにも関わることで、最終決定は発表当日まで人事

担当者以外には話すべきでないと考えており、そういったことについてはお任せいたいただきたい。

建設技術員を総務企画課へ配置した意図は。

問 農林建設課の技術職員であっても、事業によっては総務企画課に出向き業務ができると思うので、建設課技術職員を総務企画課に配置した意図は何か。

村長 公共施設の新設、修繕工事についても品質の確保、適正管理をする総務管財という関係と入札契約制度の透明性、公正等の確保ということに配置した。

副村長としての意気込み、自立村の姿としての考えは。

問 副村長としての意気込みと自立村の姿をどう描くか。

副村長 副村長就任挨拶の日に大震災が発生したこと、また村の不祥事等考えたら村長を補佐しながら危機管理的なものが私の役割かなと思う。自立村としては、まちづくり計画の成果を検証して、いろいろな面で他自治体に引けをとらない村があるべき姿だと思う。

(文責は質問議員)

○その他の質問事項

- ・ 雪害対策について
- ・ 防災(地震・豪雪)対策について



農林建設課は3階へ



副村長初答弁

一般質問



情報収集・連絡体制は対策本部の要

災害用物資の備蓄は

問 震災時に災害用物資がどれくらい備蓄してあったか。

村長 震災時、毛布100枚、テント2針、肌着40セット、医薬品20セット、給水タンク50個、安全ぼうそく90個、懐中電灯40本、紙おむつ40袋、生理用品40袋、発電機2台、飲料水256リットル備蓄していた。

被害と調査の状況は

問 役場関連施設及び家屋・村道などの被害と調査はどれくらい進んでいるか。

村長 役場に被害はなく、調査は幹線道路、公共施設は終了しており、林道・作業道はこれから多少の修理・補修箇所が出てくると想定している。
教育長 村民体育館の天井の一部にヒビが入ったこと、小

学校の外に埋設されている給水管の損傷があり、いずれも修繕済みである。

避難誘導は適切であったか

問 役場関連施設は、年2回は消火・避難訓練の義務があるが、マニュアルに基づいた避難誘導が行われたか。

村長 役場においては、屋外に避難したと聞いている。2回の避難訓練をしっかりと訓練しなければと考えている。

教育長 関連施設においては、屋外に避難しなかったが、体育館・ホール等で人員確認をした。

ヘリポートの数は

問 村内のヘリポート数と現在数で充分か伺う。

村長 ヘリポートは、現在総合グラウンド、多目的グラウンド、まると自然館、ジユ

ネス栗駒スキー場駐車場の4箇所、ヘリポートは大字に1箇所が最低ラインであり、今後県と協議の上、必要な場合は確保する必要がある。

今回の震災の問題点と検証

問 今回の震災における、災害対策本部設置から解散までの問題点について検証されたか伺う。

村長 地区での問題点の聞き取りはしておらず、今後の防災計画の策定にあたる過程で、集落の避難のあり方、リーダーの育成、啓蒙も含めて検証作業が必要である。

今後は、職員の防災意識の高揚、村民への啓蒙に努め、避難訓練の実施は大切と考える。

課題点は何か

問 今回の震災を教訓に、本

村における課題点と今後の対策について伺う。

村長 停電、断水、簡易水道の濁り、携帯電話を含めた連絡体制が大きな課題になっている。

非常用燃料の優先供給の締結、物流停止の場合の供給協定、発電機・備蓄品の配備、水道の濁り対策、給水車の導入を検討したい。自主防災組織については自助、互助の比率を高めること、緊急時の村民への広報設備の整備・充実では、広報車の導入、防災無線、オフトーク放送の具体的な見直しの検討をしなければならぬ。

備蓄品・防災計画の見直しや住宅の耐震性の向上対策については、内容の濃いものが必要である。

(文責は質問議員)

佐々木 正利 議員

初登壇

東日本大震災を教訓に本村の課題は

村長 連絡体制が大きな課題、村民への広報設備の充実を検討





教育長

なるせつ子夢センター 開設3ヶ月

一体的活用でメリット大きい

- ▼5月下旬名取市立閉上中男女バスケ部が来村、東中部と合同練習や交流試合を実施。
- ▼チャレンジデー2011は2千61人、参加率71・8%で4年連続金メダル。県内1位。
- ▼方言収集・活用事業は第1回実行委員会を開催、具体的な推進計画を策定し実践に移す。
- ▼小中連携教育、6月上旬に徳育事業としてキバナコスモスの種まきを実施。
- ▼とうほく街道会議東成瀬大会は10月14・15日を予定。
- ▼全国学力・学習調査は震災の影響で中止となった。
- ▼なるせつ子夢センターが発足3ヶ月。保育園と児童館と一体的活用、メリット大きい。
- ▼生涯学習、2講座13教室に受講申込者数が延186人。
- ▼高円宮賜杯第31回全日本学童軟式野球大会地区予選で東成瀬ブラザーズJrチームが初優勝。

村長

新過疎ソフト事業 スタート

地域活性化に期待



- ▼基本構想・まちづくり計画は、各地区で座談会開催予定。
- ▼新過疎ソフト事業がスタート、地域活性化に期待。
- ▼22年度三セク関連は1千万超の赤字見込み。大震災など。
- ▼4月から班体制、行政機構改革実施。3階に農林建設課を配置。
- ▼震災による電力不足に対処、庁舎内の空調28度、照明もLEDに。
- ▼各集落避難所に発電機配備。広報車両となる公用車購入。震災対策には自主防災組織育成が重要。
- ▼宮城県名取市からの被災者受入好評を得た。
- ▼豪雪被害、パイプハウス関係が約917万円、果樹関係が約208万円。
- ▼産業文化祭は、産業祭と文化祭で分離開催を関係機関と協議。
- ▼成瀬ダム、予算は約19億6千万円。検証作業は今年度で終了。

行政報告要旨



①閉上中学校と交流試合 ②一体的活用なるせつ子夢センター ③2011チャレンジデー
④名取市被災者を受入 ⑤産業文化祭は分離開催へ ⑥豪雪被害

見聞

常任委員会合同 地区要望の現地調査

6月14日、総務教育民生常任委員会と産業建設常任委員会は合同で各地区から提出された新規要望事項について、地区の代表の方々から説明を受け、現地の調査を実施した。

調査には、副村長と担当課長・職員も同行しており、現地調査終了後、対応策などについて検討会を開催した。

要望事項には地区の集会施設の解体など地区の事情による新たな問題が表面化しているものもあり、建設時において地区との協定など一定のルール化が必要との意見も出された。

議会ではこれらの視察箇所について、村当局と協議を詰めるとともに、関係機関へ要望等の働きかけを行い早期解決を図って行く。



U字溝蓋の設置（滝ノ沢）



水路改修（手倉）



会館の解体撤去（草ノ台）



村当局と対応策を協議



また、県内の町村議会で発行された広報をサンプルとして、改善すべき点など具体的な解説もあり、研修成果を村議会たよりの編集に反映させたい。

7月11日、秋田市に於いて、秋田県町村議会広報研修会（秋田県町村議会議長会主催）が開催され、議会広報対策特別委員5名と事務局長1名、計6名が参加し、「議会、たより」の発行意義、編集作業や記事の書き方など基本的な手法を学びました。

議会広報対策特別委員会

手法を学ぶ



東成瀬ブラザーズJrのみなさん

この人に聞きたい

かほ Kahō の 突撃 いんたびゅう

今回は高円宮賜杯学童野球地区予選大会で見事、優勝を飾った東成瀬ブラザーズJrの保護者会、鈴木会長へインタビューしてみました。



会長 鈴木 実 氏 (真戸)

かほ 予選大会優勝おめでとう
ございます！全県大会は惜しくも
初戦突破できませんでしたが、
保護者を代表して何かひと言お
願いします。

鈴木 多くの方々からご寄附を
いただき本当に感謝しております。
残念ながら、全県大会初勝
利は叶いませんでしたが、チー
ムは精一杯がんばりました。褒
めてあげたいです。今回のゲー
ムの悔しさがバネになって更に
大きく成長してほしいと思いま
す。

かほ 練習試合の申込みも多
くなるのでは・・・

鈴木 土日が野球で埋まってし
まうかもしれません。(笑)忙
しくなるけど嬉しいことです。

かほ 会長として苦勞すること
は？

鈴木 今年のような豪雪の年は
グラウンドに雪が残って練習が
できないことかな・・・親も選
手もアセります。

かほ 話は変わりますが、被災
された名取市閑上中学校とのパ
スケット交流試合はこの宿なるせ
泉)で生まれたと聞きました。

鈴木 偶然、監督の方が宿泊さ
れたのがきっかけでした。実現
して嬉しいです。村の子どもた
ちが大震災の悲しみを共有する
ことは大切なことかと・・・

かほ 最後に保護者会としての
抱負を。

鈴木 保護者の皆さんも何かと
大変ですが、子どもたちの心身
を鍛えることが親の責務。チー
ムを盛り上げ一戦一戦を見守り
たいと思います。応援よろしく
お願いします。

かほ 今日はありがとうございます
でした。みなさんのご活躍をお
祈りします。(了)



暫時休憩

▼豪雪、大地震、原発、それに大
雨など、まだまだ続いている災害
毎日繰り返されるニュースを見る
度に気が重くなる。

▼名取市から被災された方々が、
束の間の休息に来村。口々に「久
々にゆっくりお湯につかって、眠
る事ができた。」と喜んでいた。
当たり前の事ができない被災地の
方々のご苦勞に胸が痛い。

▼新聞に人と人とのつながりや希
望の大切さが書かれてあった。ま
さにその通りだと思ふ。

▼大雪にもめげず、例年よりは遅
咲きの花々。順次に咲いていく花
を見ては癒されている毎日。

▼子供たちの大活躍に拍手。我々、
大人も負けずにがんばって、元氣
な東成瀬村にしていきたい。
(委員長・谷藤怜子)

事務局職員紹介

事務補助員 谷藤果歩 (20歳)
(平成23年5月9日から勤務) 岩井川